

科目名		授業形態		担当教員名	
解剖学		講義		小形 晶子	
時間数（単位数）		授業回数		年次	
120 時間（ 8 単位）		60 回		1 年次	
開講時期					
通年					
授業の目的・概要					
解剖学は人体の形と構造を研究する学問である。作業療法士にとって、骨や筋、神経など、運動に関する臓器は特に重要であるが、同時に人体全体の構造についても十分な知識を持つておく必要がある。人の身体全体の構造と機能およびそれぞれの臓器が生体の中でどのような機能を持っているかを理解することを目的とする。					
授業の到達目標					
1. 人体を構成する器官系の名称を挙げて説明できる。 2. 各器官系を構成する内臓器官の名称を挙げて説明できる。 3. 各器官系とその主な機能を関連づけて説明できる。					
授業計画					
回	内容				
1	人体の構造	31	呼吸器Ⅰ（鼻腔、咽頭、喉頭）		
2	細胞の構造	32	呼吸器Ⅱ（気管支、肺）		
3	上皮組織	33	泌尿器Ⅰ（腎臓）		
4	結合組織	34	泌尿器Ⅱ（尿管、膀胱、尿道）		
5	骨・軟骨組織	35	男性生殖器		
6	筋組織	36	女性生殖器		
7	神経組織	37	内分泌系Ⅰ（内分泌系の概要）		
8	関節の種類と構造、支持組織	38	内分泌系Ⅱ（内分泌器官）		
9	頭頸部の骨格	39	神経系の構成要素		
10	頭頸部の筋	40	神経系の発生		
11	体幹の骨格	41	脊髄		
12	体幹の筋	42	脳幹と小脳		
13	上肢帯および上肢の骨格	43	間脳		
14	上肢帯および上肢の筋	44	収納		
15	下肢帯および下肢の骨格	45	脳室		
16	下肢帯および下肢の筋	46	脳の血管		
17	血液Ⅰ（血液の組成）	47	脳神経Ⅰ（Ⅰ～Ⅴ脳神経）		
18	血液Ⅱ（細胞成分）	48	脳神経Ⅱ（Ⅵ～ⅩⅢ脳神経）		
19	血管の構造	49	脊髄神経Ⅰ（頸神経叢と腕神経叢）		
20	心臓	50	脊髄神経Ⅱ（胸神経、大腿神経叢と仙骨神経叢）		
21	肺循環	51	自律神経Ⅰ（概要と形態）		
22	全身の動脈Ⅰ（大動脈）	52	自律神経Ⅱ（交感神経と副交感神経）		
23	全身の動脈Ⅱ（末梢の動脈）	53	感覚器Ⅰ（皮膚、嗅覚器）		
24	全身の静脈	54	感覚器Ⅱ（視覚器、聴覚器、味覚器）		
25	リンパ、リンパ管	55	上行性伝導路Ⅰ（触覚と痛覚）		
26	リンパ性器官	56	上行性伝導路Ⅱ（特殊感覚）		
27	消化器系Ⅰ（消化管の一般構造、腸間膜）	57	下行性伝導路		
28	消化器系Ⅱ（口、咽頭、食道）	58	ヒトの発生と分化		
29	消化器系Ⅲ（胃、小腸、大腸）	59	体表解剖学Ⅰ（体幹、上肢）		
30	消化器系Ⅳ（肝臓と膵臓）	60	体表解剖学Ⅱ（下肢）		

科目名
解剖学

成績の評価法と基準		
種別	割合	評価基準・その他備考
定期試験	90%	人体を構成する器官について名称をあげた説明でき、その機能について、関連づけて説明できる。
レポート		
小テスト	10%	毎回の授業時に、前回までの授業の内容について小テストを行い評価する。
平常点		
その他		
自由記載	前期末に中間試験、学年末に定期試験を行う。定期試験と小テストで総合評価する。	
教科書		
書名	著者・編集者名	出版社名
からだの構造と機能	A. シェフラー	西村書店
実習にも役立つ人体の構造と体表解剖	三木明德	金芳堂
自由記載		
参考文献		
書名	著者・編集者名	出版社名
自由記載		
備考		